

## 次期「あいち文化芸術振興計画（仮称）」策定に係る第2回有識者会議 開催結果

### <開催概要>

#### 1 日時

2022年9月15日（木）午前10時から正午まで

#### 2 場所

愛知県自治センター 6階 602会議室

#### 3 出席者（五十音順、敬称略）

荒木 由香里	現代美術家
井本 仁	半田市立成岩中学校長
梶田 美香	名古屋芸術大学芸術学部芸術学科教授
片山 泰輔	静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科教授
高北 幸矢	愛知芸術文化協会理事長、清須市はるひ美術館館長
田境 志保	豊田市美術館副館長
寺尾 晶子	中日新聞事業局文化事業部長
戸山 俊樹	愛知県立芸術大学学長
長井 千春	愛知県立芸術大学美術学部長
西川 千雅	日本舞踊西川流四世家元
村田 眞宏	豊田市博物館準備室参与、元愛知県美術館館長
吉野 さつき	愛知大学文学部人文社会学科教授

### <次第>

#### 1 開会

あいさつ 県民文化局文化部長

#### 2 議題

次期「あいち文化芸術振興計画（仮称）」の策定について

- (1) 次期計画案の修正について
- (2) 進捗管理指標について

#### 3 閉会

### <主な意見>

#### 1 全体に係る内容について

- ・ジブリパークについて、多数記載がある。県の施策の中で、どのような位置付けか。
- ⇒（県）アニメーションの世界でもあり、文化との親和性も高い。また、立地においても県陶磁美術館や県芸大とも近く、連携はあり得る。しかしながら、ジブリパークは、文化施設としての位置付けではない。

#### 2 基本課題と個別取組について

##### (1) 伝統芸能と文化財について

- ・伝統芸能や文化財等について、次世代への継承が大きな課題ではあるが、当事者からは維持が大変と聞く。維持も重要だと思う。
- ・伝統芸能や文化財等について、「維持」を加えることで、その一つ前の基本課題「愛知の文化資源等を活かした地域力の向上」と連動することが大切だと思う。

##### (2) 障害者の文化芸術活動の推進について

- ・障害者の文化芸術活動が、余暇のみだけでなく、就労にも繋がり、さらにロールモデルや牽引をしていく人材の輩出を、この先の5年は目指してほしいと思う。なお、

すでに企業とのコラボレーションの事例などが出されている中で、この先を見据えたときに、「愛知モデル」という表現自体がむしろ遅れてしまうのではないかと感じる。

(3) 文化部活動の地域移行について

- ・文化部活動の地域移行について、県としてどのように考えているのか。次期計画に反映した方が良いと考える。
- ・教育委員会が主導していくと思うが、どのような形で支援をしていくのかについて検討してもらえるとありがたい。

(4) 文化に関する教育について

- ・文化芸術に関する教育は、これまで軽視されてきたが、自分で考え行動できる大人になるなどといった効果が期待できることから、文化芸術の理念の重要性を学校教育の中、具体的には地歴公民において教えるべきだと思う。
- ・具体的な施策として、学校との連携の中で、理念をしっかりと伝えていくことが記載できると良い。

(5) 人材育成について

- ・アウトリーチについて、他教科との連携がなかなか進まない。社会との結びつきを考える芸術家が少ない現状があることから、人材育成に結びつけられると良い。
- ・文化芸術のことを文化芸術の分野のみで論じるのは限界があると感じることから、同じ教育現場でも、連携して施策や働きかけができると、人材育成につながると思う。

(6) 伝統的工芸品等の産業振興について

- ・需要拡大に向けた取組に対する支援等により、何をめざすかを具体的にした方が良い。それにより、検証する際に、どのように支援し、何が起きたかが分かることから、説得力を増すと思う。

### 3 進捗管理指標について

(1) 全体について

- ・確実性をどのように担保するかが重要である。
- ・進捗管理指標について、分野ごとにばらつきがあると感じる。
- ・計画の進捗状況については、単に公表するのみではなく、プロモーションをすると良いと思う。

(2) 進捗管理指標について

- ・劇場と子ども7万人プロジェクトについては、賛同市町村数と参加学校数の2つ指標が考えられるが、学校数とするより、人数としたほうが事業の趣旨とも一致するのではないかと感じる。
- ・基本目標1の基本課題「高齢者、障害者を始めとした多様な県民の文化活動の推進」に対応する進捗管理指標がないことから、例えば鑑賞サポートの利用者や事業全体の何パーセントに鑑賞サポートを付けたかなどの指標は外せないと思う。
- ・基本目標2の基本課題「文化芸術の担い手となる人材の支援、継承、育成」に対応する進捗管理指標として、芸術家人口の増加を進捗管理指標とするのであれば、それに

対応する取組として、フォローアップの仕組みを検討してほしい。

- 基本目標 3 の基本課題「愛知から世界へ向けた多様な文化芸術の発信」に対応する進捗管理指標について、国際芸術祭の満足度があるが、本来は海外からの来場者、せめて県外からの来場者における満足度とするべきである。
- 基本目標 3 の基本課題「愛知芸術文化センター等を拠点とした芸術創造の展開」に対応する進捗管理指標として、「創造」と「発信」はそれぞれ別に進捗管理するべきである。
- 基本目標 4 の「伝統芸能や文化財等の維持、継承等」に対応する進捗管理指標として、伝統芸能については次世代の担い手の獲得や、体験できる機会の提供を進捗管理できる指標があると良い。